

デジタル粉じん計（LD-3S）測定方法

浮遊粉じん検査は、授業中に机上の高さで測定する。（毎学年2回）

1) 準備（電源を入れる毎に毎回行う。）

1. AC電源、又は乾電池を入れ、電源スイッチをONにし粉じん計を起動させる。
2. 採気口キャップを引き上げ「LOCK←」の方向に回し固定する（採気口を閉じる）。
3. ノブを引いて「MEAS.BG」の位置にする。
4. [MODE]を6回押して「BG測定モード」にする。
5. [START/STOP]を押してBG測定を行う。自動的に終了する。
6. 「BG測定」終了後、キャップは閉じたままノブを押して「SPAN」の位置にする。
7. 「SPAN測定モード」になっているのを確認してから1分程度そのまま放置する。
8. [START/STOP]を押してSPAN測定を行う。自動的に終了する。

2) 測定

1. 準備が終了したら、ノブを引いて「MEAS.BG」の位置にする。
2. [MODE]を6回押して「K値の変更」にする。
3. [START/STOP]を押して、K値を「1.3」にする。
4. [MODE]を4回押して「5分測定モード」にする。
5. 採気口キャップを「LOCK←」の方向と逆に回し下げる(採気口を開ける)。
6. [START/STOP]を押して粉じん測定を行う。自動的に終了する。

3) 片付け

1. 使用を終えるときは、ノブを押して「SPAN」の位置に戻し、
採気口のキャップを閉じて電源スイッチをOFFにする。

4) 検査報告書記載要領

「浮遊粉じん」の項目には、「5分測定モード」で表示される質量濃度(mg/m³)値を記載する。

（検査結果が著しく基準値を下回る場合（0.05mg/m³以下）には、以後教室等の環境に変化が認められない限り次回からの検査を省略することが出来る。）

1) -1



1) -1 「電源スイッチ ON」



1) -2、3) -1 「閉める」



1) -3、2) -1



1) -4 「BG 測定モード」



1) -6、3) -1



1) -7 「SPAN 測定モード」



1) -8



2) -2 「K 値の変更」



2) -3



2) -4 「5分測定モード」



2) -5 「開ける」

